

2022 春季生活闘争・妥結情報

2022.5.10 — 第13号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

2022 年春季生活闘争 第5 回回答集計結果について

連合本部は、2022春季生活闘争につき、5月6日（金）午前10時時点で取りまとめた回答集計について、次のとおり発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した 4,655 組合中 3,330 組合が妥結済み（71.5%）。うち賃金改善分を獲得した組合は 1,532 組合（46.0%）で、割合は 2014 闘争以降最も高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した 3,336 組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で 6,160 円・2.10%（昨年同時期比 813 円増・0.29 ポイント増）、うち 300 人未満の中小組合 2,292 組合は 4,997 円・2.02%（同 559 円増・0.25 ポイント増）となった。前回集計（4 月 14 日公表）以降新たに回答を引き出した 599 組合のうち 502 組合（83.8%）が中小組合であるが、4 月末時点で中小組合の率が 2%を超えたのは 2018 闘争（2.02%）以来であり、依然「賃上げの流れ」はしっかりと引き継がれている。賃上げ分が明確に分かる 1,795 組合の「賃上げ分」は 1,848 円・0.62%で、前回集計の水準を維持しており、またすべての規模区分で昨年同時期を上回った。うち中小組合 1,058 組合の 1,757 円・0.71%は、額・率とも第 5 回回答集計時点では、賃上げ分の集計を開始した 2015 闘争以降で最も高い。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給 24.54 円（同 2.66 円増）・月給 5,076 円（同 634 円増）である。引上げ率は概算でそれぞれ 2.39%・2.33%となり、一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。
- すべての労働者の立場にたった「働き方」の改善やジェンダー平等・多様性の推進に向けて数多くの取り組みがなされているが、とりわけ、勤務間インターバル制度の導入／向上、均等・均衡待遇実現、60 歳以降の処遇のあり方への対応、男性の育児休業取得促進は昨年同時期を超える要求／回答・妥結件数となっている。

連合北海道が 5 月 6 日（金）午前 10 時時点で取りまとめた回答集計は、以下の通り。

- エントリー-203 組合の約半数となる 130 組合（昨年同時期比 28 組合増）が妥結した。
- 集計が可能な 118 組合 36,729 人における回答妥結額（加重平均）は、5,447 円（定昇・ベア込み）、妥結率は 2.06%となった。
- 時間給労働者の妥結組合数は 16 組合で引き上げ額は加重平均で 24.42 円、引上げ率は 2.50%、平均時給（加重平均）は 1,000.42 円となった。

連合北海道は、未解決組合の賃金交渉を促進し早期の決着に向け情報を発信するとともに、支援体制を続けていく。

【組合規模別賃上げ状況 2022年5月6日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	*昨年実績額 (定昇・ベア込み)	*昨年比
～99 人	50	2,136 人	3,867 円(1.76%)	3,211 円(1.44%)	656 円(0.32%)
100～299 人	43	7,278 人	4,759 円(2.08%)	3,493 円(1.53%)	1,266 円(0.55%)
300 人未満計	93	9,414 人	4,531 円(2.01%)	3,413 円(1.51%)	1,188 円(0.50%)
300～999 人	19	8,956 人	4,556 円(1.84%)	4,058 円(1.60%)	498 円(0.24%)
1,000 人～	6	18,359 人	6,261 円(2.15%)	6,997 円(2.42%)	-736 円(-0.27%)
300 人以上計	25	27,315 人	5,736 円(2.07%)	5,979 円(2.15%)	-243 円(-0.08%)
計	118	36,729 人	5,447 円(2.06%)	5,452 円(2.03%)	-5 円(0.03%)